

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

小児再発性上部尿路感染症の起因菌に関する検討

2. 研究の対象患者

旭中央病院で尿培養を実施した患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・選択基準

1) 日齢5日から15歳の小児患者さん

2) カテーテル尿または中間尿の培養で 10^4 CFU/ml以上の菌発育を認めた患者さん

・除外基準

1) 初発時に重度の尿路奇形が判明している患者さん

2) 初発時に神経陰性膀胱に対し間欠的自己導尿を行っている患者さん

3) 初発時に尿路感染症に対して抗菌薬予防内服中の患者さん

4) 初発より2週間以内の尿培養陽性患者さん

3. 研究の対象期間

2010年1月1日～2018年3月31日

4. 研究の概要

小児再発性上部尿路感染症(Trinary tract infection:UTI)の起炎菌は、70%以上がEscherichia coliである。また一部の症例では、膀胱尿管逆流(Vesicoureteral reflex:VUR)などの基礎疾患を背景に再発を認めるが、再発時の起炎菌についての知見が少なく、JAID/JSC感染症ガイドラインにも再発時における推奨治療薬や推定される起炎菌の記載はない。そこで再発時における尿路感染症の起因菌について検討を行い、再発患者の抗菌薬治療が適切に実施されるよう検討する。

5. 研究実施予定期間

2019年3月20日～2020年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、既往歴、合併症、入退院日、診断名、画像所見、VCUG、治療薬

〔血液学的検査〕：WBC、Neu(%)、Plt

〔生化学的検査〕：UA、BUN、Cre、CRP

〔尿検査〕：尿定性(WBC、亜硝酸)、沈渣(WBC)

〔細菌学的検査〕：尿培養結果、血液培養結果、感受性結果

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：小児科 北澤 克彦

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)